

日本特別活動学会 重点課題研究プロジェクト申請書

提出日 西暦2022年12月29日

1. 研究代表者

氏名	杉田 洋	所属	國學院大學
----	------	----	-------

2. 研究課題名

エジプト国における特別活動等のディプロマの研究
-------------------------

3. 研究組織 ※欄が不足する場合は増やしてください。本学会員にはチェック☑をつける

		会員	所属
安部恭子	研究協力者	<input checked="" type="checkbox"/>	文部科学省
京免徹雄	研究分担者	<input checked="" type="checkbox"/>	筑波大学
黒木義成	研究分担者	<input checked="" type="checkbox"/>	沖縄大学
瀬戸口暢浩	研究分担者	<input checked="" type="checkbox"/>	株式会社パデコ
橋谷由紀	研究分担者	<input checked="" type="checkbox"/>	日本体育大学
山田真紀	研究分担者	<input checked="" type="checkbox"/>	椙山女子大学
脇田哲郎	研究分担者	<input checked="" type="checkbox"/>	福岡教育大学

4. 研究目的 ※何をどこまで明らかにしようとするのか具体的に記入してください。

エジプトでは、2016年に日本と合意した「エジプト日本教育パートナーシップ」の下で、特別活動を中心とした日本式教育の導入が進んでいる。同日本式教育のモデル実践を行う「エジプト日本学校」は51校に達し、そこで教える教員の数は17,000人を超えた。また、一般校における特別活動の導入も始まっている。それらの教員の能力向上の課題に対し、エジプト側は短期の専門職コース(Diploma Program)を大学に新設することを希望している。エジプト日本科学技術大学(E-JUST)学長およびエジプト日本教育パートナーシップ幹事長で元高等教育大臣のハニー・ヒラール教授(カイロ大学工学部)より、同ディプロマ・コースのコンセプトを、エジプト側と日本側の研究者が共同で策定できないかとの要望が出された。そこで本研究では、海外における教員向け専門職コース(Diploma Program)の一部に特別活動やその他の日本式の実践的な教育技術の内容を導入するため、学会員の有志によって知見をまとめ、エジプト側が求めるコンセプトノート、両国による協力枠組み、エジプト国高等教育省の大学最高評議会(日本の設置審議会に相当)教育学部会に提出するコース概要等の検討に協力することを目指す。

5. 対応する重点課題 ※①~④の数字を記入する

②	①学校での実践を活性化するための研究 ②特別活動の担い手を育てるための研究 ③特別活動の意味と機能を明らかにするアカデミックな研究 ④次期学習指導要領の「特別活動」の構造と内容を提言する研究
---	--

6. 研究期間及び計画 ※具体的に箇条書きにしてください。

研究期間: 2023年 4月~2024年 3月( 2 年間)

- 2023/04: 研究チーム内キックオフ
- 2023/05: エジプト側との意見交換、ディプロマコース用コンセプトノート、協力枠組み、コース概要等の作業の、エジプト側分担部分と日本側分担部分の設定
- 2023/06: 日本側担当部分の役割分担の設定
- 2023/07: 他国の類似コースの分析、各分担執筆作業
- 2023/09: 日本側担当部分のファーストドラフト
- 2023/10: エジプト側担当部分と日本型担当部分のファーストドラフト統合
- 2023/11: エジプト側と日本側関係者による意見交換
- 2023/12: 改定作業
- 2024/01: 最終案のエジプト日本教育パートナーシップへの提案

2024/04: 二か国の大学等の機関が共同で実施する類似コースの事例等の比較研究  
2024/09: エジプトでのディプロマコース運営へ協力するための提言のとりまとめ  
2024/12: 日本国内協力体制へ向けた提言のとりまとめ  
2025/01: 特活学会イベント等での発表

7. 研究成果を学会員や社会へ還元する方法  
計画されているものに☑してください。

		学会・雑誌名・時期など
<input checked="" type="checkbox"/>	年次大会や研究会等での発表	年次大会や研究会等での発表 (2024/03)
<input type="checkbox"/>	学会誌への投稿	
<input type="checkbox"/>	オンライン研究会などの開催	
<input type="checkbox"/>	研究成果報告冊子／書籍の発行	
<input checked="" type="checkbox"/>	その他	エジプト教育パートナーシップが求めるコンセプトノートの作成 (2024/01)

8. 研究費助成の希望                      選択→        有                      有を選択した場合、別タブの「予算申請書」を作成してください。

9. 科研費申請の有無

選択→    無

10. 研究誓約事項

チェック

- ・日本特別活動学会の研究倫理規定を熟知している。
- ・研究対象のプライバシー保護など人権に配慮して研究を進める。
- ・研究費を適正に使用する。
- ・成果発表において盗用・剽窃などの研究倫理違反をしない。
- ・年度末に研究成果報告書を提出する。
- ・研究倫理に関する上記のルールを研究分担者および協力者にも順守させる。
- ・本申請書を研究代表者のメールアドレスから添付ファイルで送信したことをもって、上記の誓約書に同意したこととする。